

K. I. 2025年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

私は4年間の大学生活で、「ゼミ活動」と「部活動」の2つを軸に学びを深め、大きく成長することができました。

所属していた眞鍋ゼミでは、「教育 × SDGs」をテーマに活動を行い、高校の探求授業で実際に教壇に立ち、生徒にキャリア教育やSDGsの理解を促す授業を担当しました。もともと教員になることが夢だった私にとって、生徒と関わる経験は非常に貴重で、胸が高鳴るものでした。しかし現場に立つと、自分が「学び理解すること」と高校生に「伝え、伝えること」の間に大きな隔りがあることに気づきました。そこで、教員ではなく大学生という立場だからこそできる関わり方を考え、ゼミ生全員で試行錯誤しながら、生徒が自分事として捉えられる授業づくりに取り組みました。

また大学2年生からは、女子ラクロス部に入部しました。1年生の頃は学業に不安があり、部活動への参加をためらっていましたが、「後悔したくない」「最後の学生生活を充実させたい」という思いから挑戦を決意しました。ラクロスは大学から始める競技で、全員が初心者でした。そのため、過去の経験ではなく“努力した分だけ成長できる”環境でした。私たちは「九州制覇」という大きな目標を掲げ、自分たちでチーム運営を行い、北九大歴代最高の成績を残すことができました。道のりの中では大きな壁にも直面しましたが、中間目標を設定し、段階的に課題を克服することで、全員が目標と現実のギャップを埋めながら成長できました。

このように私は、北九大での学生生活を通じて、多様な経験から主体性・協働性・課題解決力を培い、大きく成長することができました。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

私は今年の春から、九州・山口で事業を展開する総合不動産会社に勤務しています。大学時代のゼミ活動がきっかけで現在の会社を知り、その活動を通して会社の魅力に触れたことで、「ここで働きたい」と心から思い、入社を決めました。

初めての配属は、住宅を建てるための「土地」を仕入れる営業職でした。学生時代には聞いたことのない専門用語や知識に戸惑い、不安も大きくありました。しかし、学生時代に培ったコミュニケーション力と、「今の自分にできること」を常に考えて行動する姿勢を活かし、試行錯誤しながら少しずつ業務に慣れることができました。現在では毎日が新しい発見の連続で、充実した社会人生活を送れています。

また、不動産業界で働く上で不可欠な資格試験にも1年目から挑戦しました。合格という大きな目標に対し、段階的な学習計画を立てることで、仕事と勉強を両立し、無事に合格することができました。

社会人1年目は、会社や社会に対して大きく貢献できることはまだ多くないかもしれませんが、しかし、そこで立ち止まるのではなく、自身のキャリアの目標を明確にし、逆算して段階的に目標を積み重ねる「終わりを思い描く生き方」を実践することで、今何をすべきかが見えるようになりました。

現役生へのメッセージ

上記のように、私が社会人生活で得ている成功体験の多くは、大学で学んだ“地創生”の学びが基盤となっています。学生生活の4年間は、社会人になってからでは決して同じ形で手に入れられない、かけがえのない時間です。だからこそ、常に目標やゴールを持ち、「後悔しないように今を全力で過ごす」ことを大切にしてほしいです。日々の活動一つひとつが、将来の自分の力になります。そして、学生生活を思いきり楽しんでください。

(2025年11月26日執筆)



ラクロス部で遠征に行った時の写真。

1勝しかすることはできなかったが、初めての関東遠征で多くの人と出会うことができました。そして刺激をもらいました。



1年目の社員研修で1位を取った時の写真。私たちの会社では同期同士でスキルやモチベーションを上げあう研修を毎月行い、日々切磋琢磨しています。

N. K. 2024年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

私の学生時代を形作ったものは、大きく分けて**2つ**あります。

1つ目は、**部活動**です。私は硬式野球部に所属し、大学生活のほとんどをこの部活動に捧げてきました。ご存じの方も多いとは思いますが、硬式野球部はほぼ毎日朝練を行います。そのため、キラキラしたキャンパスライフは入学前から諦めていたとはいえ、本当に信じられないほど野球漬けの日々を送っていました。今思えば、「朝から全体練習をし、授業の時間になれば学校へ行く。そして授業が終わるとまたグラウンドに戻って、寝る直前まで大好きな野球をする。」これほど贅沢な時間は今後一生無いだろうと思います。さらに、この部活動を通じて出会い、時にはライバル・時には友人として過ごしたチームメイトたちとの思い出も私の学生生活を語る上では必須なものです。結果が出ず悩む日々を、明るく支えてくれたチームメイトは私の誇りであり、一生の宝物です。

2つ目は、**ゼミ活動**です。

私は南博先生の「南ゼミ」に所属しておりました。主な研究対象は「プロスポーツと文化財」。スポーツと観光が好きな私には最高の内容でした。実際の活動としては、フィールドワークを中心に、南先生の影響力をお借りしながら様々な体験をさせていただきました。中でも特に思い出深いのが、「TGC北九州でのボランティア活動」です。そもそもこのゼミにいなかったら参加する機会が無かった上に、この規模のイベントの影響力や関わる人の数、協賛する企業の仕組みなどをリアルに感じる事ができました。また、同じゼミ生とはコロナ渦ということもあり、中々飲み会などの交流をする機会がありませんでしたが、卒論という大きな課題を励ましあって取り組んだことは大学生ならではの良い思い出です。

このように、私の学生生活はキラキラとはしていませんでしたが、充実し、非常に満足度の高いものだったと言えます。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

私は今、北九州をメインに九州・山口に事業を展開する**総合不動産会社**に勤めています。ここには新卒で入社し、現在2年目を迎えています。私の出身は熊本県ですが、北九州の住みやすさや大学の名前を業務で活用するためにも北九州での就職を決めました。

私の主な業務内容は、住宅のリフォーム営業です。お客様のニーズを引き出し、ご提案、ご契約後は工事の管理まで行っています。この仕事のやりがいは大きく3つ。1つは、お客様の不安や不便を取り除き、「**ありがとう**」をいただけること。2つ目は、個人の方が支払うものとしては**額がかなり大きい**ということ。案件によっては、400万～500万円になることもあります。そして3つ目は、数ある商品の中からの**的確なものを提案する能力やセンスが試される**こと。あくまでも提案の軸は、自分が好きなものではなくお客様が好きなものという「我慢する力」が付くなど日々感じています。

今後の展望としては、**起業**を考えています。起業は、私が小さい頃からこうなりたい!と考えていた働き方であるということと、「自分のセンスや力を試したい」という思いから自分の心の奥で常に燃え続けています。その起業という目標のために、今の仕事をレベルアップする活動の他、ビジネスの勉強等も並行して行っています。

また、仕事だけではなく、プライベートも充実させるのが私の理想の生き方です。そのため、出勤前の筋トレや北九州マラソンへの参加など、公私ともに充実した生活を送っています。

現役生へのメッセージ

現役生の皆さんとは少ししか年が離れておらず、アドバイスというほどいいものはありませんが、大学を卒業し実際に社会に出た人間として1つお話しします。

それは、「**人との関わりを大切に**」ということ。なぜなら、これから苦しいときや大きな決断を迫られるとき、**必ず誰かに頼ることになります**。また、学生生活や仕事でここぞの力を出す理由が「誰かのために」となることも多々あります。生きていく上で**人との関わり**は必ず重要なキーになるため、是非とも「**人を大切に**」してください!

(2025年11月20日執筆)



↑ 卒業旅行に行った際の写真です!ヨーロッパを3週間ほど掛けて回りました。節約しましたが、全財産無くなるレベルでした、、、。(笑)



↑ 北九州マラソンに参加した際の写真です!社会人になっても、積極的に体を動かすようにしています。